

自動車の發達と自動車道



道路改良會理事 中川 正 左

陸上交通機關として、鐵道が獨歩した時代は、既に過去のことになり、自動車輸送は最近著しき發達を示し、現に英米兩國にては、寢臺附旅客自動車が運轉するゝことゝなり、夜間の旅客輸送にても、鐵道の壘を摩するに至つたのである。

英國の倫敦リヴァプール間に於て、昨年八月以來營業を始めたアルバトロス旅客自動車は、全長二十七呎内部の幅七呎で、定員十二人の寢臺附である、而して車の前端右側にボーイ室、左側に圖書室と便所を設け、厨房にはこの車内で供給する食事、即ちお茶、コーヒー、ビスケット等の軽い朝食が用意されるゝのである、併かも此食事は凡て無料であつて、該區間の自動車賃は鐵道の三等乗車賃と同一で廿五シリングである。

又米國加州のピクウィック、ステイヂス運輸會社が、過般創設した寢臺附旅客自動車ナイトコウチ

は、寢臺の定員二十六人であるが、其具備する旅客用椅子は、更衣室の折疊小椅子をも含めて、合計四十四人分あり、階上、階下の寢室は巧みに天井と床とを組合せてあるので、車體の高さは、一般の大型旅客自動車より數吋高い丈で、其他は大きさが變りがない、中央に通路があり、この通路の左右兩側に階上階下を合せて十三個のコムパルトメントの設備があり、一コムパルトメントには、二個の寢臺が二段に備へられ、同室の二人の旅客は、晝間には、互に向ひ合つて着席し、夜間には、其椅子が寢臺となるのである、旅客の手で自由に點火し得る電燈や、氷を入れた水が満ちて居る魔法罎や、水道栓及ニツケルの洗面器が備えられ、厨房では、温い食事を用意し、スチユワードが各コムパルトメントに之を運ぶのである、調理用具や、冷蔵庫や、貯藏器が備えてあり、最後部の手洗所には、水洗式便所、排泄物受タンク、水道付洗面器、全身鏡等が用意され、設備の完全せる劃時代的のものといふべき自動車である。

自動車の發達は、獨り旅客運輸に於けるのみではなく、貨物輸送に於ても、鐵道と對抗し、鐵道を脅威して居るのである。自動車運送の長所や利益は、積込費及小運送費の不用なること、運送時間の遙かに短縮せらるゝこと、戸口から戸口迄運搬せられ、其間數回の積換費を節約し、商品汚損破壊せざること、更に鐵道輸送よりも其總運賃に於て低廉なる運賃を以て輸送することである例へば、獨逸の貨物輸送を見ると

區 間	距離 (キロメートル)	國有鐵道 (驛ヨリ驛マデ)	自 動 車 (戸口ヨリ戸口マデ)
伯 林—漢 堡	二八六	三、五四マルク	三、五〇マルク
伯 林—ハノバ	二五六	四、三四	四、〇〇
伯 林—ライプチヒ	一六四	三、〇二	二、七〇
伯 林—ドレスデン	一八一	三、二八	二、八〇

右の表に示すが如く鐵道よりも低廉な運賃で輸送を爲してゐるので、鐵道は如何にして自動車輸送に對抗すべきやを考究するに日も尙足らざる有様である。

現今自動車輸送發達の概況は大體右の通りであるが、我國にても、今日自動車數は既に五萬臺を突破し、益々發達を爲さんとする状態であるが、之に伴ふ道路の改良發達が寧ろ遅々として振はないのみならず、彼の専用自動車道或は自動車専用道路又は自動車道に關する法律の制定や其所管官廳等の問題が今尙ほ未解決の状態にあるが如きは實に遺憾なことであると云はねばならぬ。

自動車道は伊太利にて最も發達を見たものであつて、ミランに於ける自動車道會社はピエロ、ブリチエリ氏を中心として發起せられ、千九百二十三年三月起工し、千九百二十五年十二月より新道路の開設を見たので、ミランよりセスト、カレンデーに至るものを幹線とし、北部伊太利の交通頻繁なる地方を縦走し、名勝に富める湖沼地方を連絡するのである。ミランよりコモへの第一分岐點迄は、幅員が

十二メートルで、其他は十メートルとなり、全延長は八十六軒に達して居る。新道路は全部鋪裝せられ、建設費は一キロメートル八十八萬リラで、使用料金として一車に付十五リラ乃至二十五リラを徴收するのである。我國にても數年前より和歌山縣で許可せられて居る、南海電車の終端から高野山に登る約二里半の専用道路とが、今回資本金八十萬圓を以て創設した、神奈川縣の大船片瀬鎌倉間約五マイル半の日本自動車道株式會社等が出現した様ではあるが、時勢に適合すべき所謂自動車道の法規が未だ缺如して居るが爲め、土地收用法や株式拂込金額其他鐵道軌道の有するが如き諸般の便法が無いので、是等企業者は其經營上頗る困難を見ることゝ思はるゝのである。仍て自動車道の特許或は免許は、現在の軌道と略ほ同様に取扱ふこととし、其特許は内務省で之を握り、運輸上の許可は鐵道省で持つと云ふ風に、所管官廳を一定し、成るべく急速に自動車道を成立させて、昭和の新時代に於て、自動車輪送が益發達し、一般道路鐵道軌道と相俟つて、陸上交通網或は交通路線網が系統的秩序的に編成せられ、是等の交通機關は相互協調妥協して、今日迄遲々たる發達を爲した陸上交通が層一層活躍して迅速なる發達を見んことを切望して止まないものである。